



－労働災害の絶滅を願って－

40 HISTORY

川越地区労働基準協会の労働安全衛生部会は、令和7年10月10日（金）川越市内ラ・ボア・ラクテで、創設40周年記念式典・祝賀会を開催しました。

<以下は、長島顧問による聞き取りを文面にしました>

同会は当時の長島 治協会長が既に立ち上げていた「プレス部会」に続き、食品製造業も巻き込み、前身となる「労働衛生部会」として1986年（昭和61年）に誕生しました。

本部会は、職場における有害な作業環境の改善、労働者の健康管理体制の確立、労働衛生の知識および情報の交換を図り、もって労働者の福祉の向上と企業の発展に寄与することを目的として発足しました。当時の川越労働基準監督署長のご指導により、中小企業協同安全衛生改善事業助成金を賜り、その活動に活力が漲っていきました。

また当時の部会幹事各位に講師の資格を取得し、担当講師として責任を担ってもらい、労働衛生講習、労働安全講習、職長教育講習、有機溶剤業務従事者、VDT作業従事者、VDT作業管理者教育、新入者安全衛生教育、危険予知訓練と数々の教育講習会を立ち上げていったそうです。このように、他よりも安く、しかも自事業所内で活動しさらにそれを部会内に水平展開するという一挙両得が売り物となって発展し続けました。

今これらの受講者の皆さんが、各企業の生産現場において安全衛生活動を積極的に展開し、労働災害の防止に取り組んでいることを思うとき、労働安全衛生部会の存在意義とその活動が、産業社会の期待を受けて燦然と輝いていることに感慨を深くします。

<以上が長島顧問の発言を文章にしたものです>

昨年度末までに、本部会が実施してきた講習では、40年間で累計1万6094人が受講されました。





上；挨拶する「金井部会長」



上；挨拶する「白井協会長」



上；40周年記念表彰受賞者全員集合



上；40周年記念式典実行委員会メンバー集合！！



上；乾杯のご挨拶をする「高橋 顧問」



上；発足当時の思い出を語る「長島 顧問」



歴代部会長！4代白井氏，2代赤石氏，3代沖田氏，5代金井氏

「講習会の修了者は各事業所において、労働安全衛生のリーダーとして活躍を続けると同時に、労働安全衛生意識の高揚に寄与しており、労働災害の減少に結びつていることを確信している」と労働安全衛生部会の金井正部会長。川越地区労働基準協会の白井宏一会長は「これからの産業社会の変化に対応するべく協会と労働安全衛生部会は互いに切磋琢磨し、会員に的確な情報を提供し、働く人自身の意識改革や参加型の講習会・研修会を一層充実させていきたい」コメントを寄せた。そして、2代目部会長の赤石さんから

は、発足当時の目標であった安全衛生のキーマンである職長受講修了者1,000人は、十数年で達成できた。今後は新たな目標値を設定することや、講師の質の向上と充実というテーマを投げかけて頂きました。





令和七年十一月 号外
 労働安全衛生部会創設四十周年記念
 編集 事務局長 岩尾 哲二